

平成29年度 第1回中央区支え合いのまち推進協議会議事録要旨

【1】開 催

- 1 会 議 名：平成29年度第1回中央区支え合いのまち推進協議会
- 2 日 時：平成29年6月23日（金） 午前10時00分～正午
- 3 場 所：中央保健福祉センター 大会議室（きぼーる11階）
- 4 出 席 者：委員 24名（介助者を除く）
（欠席 3名）
事務局 10名
傍聴人 0人

【2】次 第

- 1 開 会
- 2 区長あいさつ
- 3 新任委員紹介
- 4 議題

- (1) 「中央区支え合いのまち推進計画」の平成28年度推進状況について
・・・資料1-1 資料1-2
- (2) 第4期中央区地域福祉計画の素案について
・・・資料2-1 資料2-2 資料2-3 補足資料
- (3) 区支え合いの推進計画実施状況調査について
 - ・実施状況調査票について 資料3-1
 - ・先駆的な取組事例調査票について 資料3-2
- 5 その他
- 6 閉 会

【3】議事の要旨及び発言要旨

議題（1）「中央区支え合いのまち推進計画」の平成28年度推進状況について

（事務局）

資料1-1、資料1-2について説明。

（委員）

評価方法でいつも感じていることだが「達成」という言葉について、行政の方でここまでやったらA評価が妥当だろうという基準を何か示して頂きたい。この資料を見ると、ここまでやろう、と目標を立てて達成したらA評価になって、評価基準についてかなりバラつきがあると思う。これでもA評価なのかという項目もあるので同じA評価でも、各項目別にここまでやったらA評価という明確な基準を出してもらいたい。

(事務局)

今の質問は確かにもっともだと思う。各地区に目標を設定してもらって達成したことによって評価させて頂いているが、その前に本来あるべき姿として地域の実情を分析して、例えば各エリアの中に高齢者がどのくらいいるのか等を把握し、その中で一つ一つ項目ごとに基本的な水準を作って評価が出来れば理想である。しかし、そこまで細かい分析が事務局で出来るかという、いささか不安な部分もあり、評価方法については今後の課題としていければと思っている。

(委員)

達成状況についても思うところがあり、通常の実組項目についてもせっかく地域で色々やっているのに、そこが載ってこないのはもったいないと思う。

(事務局)

指摘して頂いた点については、重点実組テーマを報告するという事になっているが通常の実組項目についても中央区に関しては活発に活動しているので、このような意見があったということで併せて報告して行きたいと思う。

(委員長)

重点実組項目以外の項目の進捗についてはまとめてはいないのか。

(事務局)

資料としては今回の重点実組項目のようにまとめてはいないが、3月末の推進協会で重点実組項目と重点実組項目以外を分けてまとめているので、それを形にして欲しいということであれば時間を頂きたいと思う。

(委員)

今回の資料を全体的に見ると、やはりバラつきがあると感じた。特化しているものは集中してA評価が多いが、BでもCでも良いので現在A評価になっている以外のものにも手をつけて欲しいと思う。やはり高齢者分野には地区部会も力を入れているところが多いが、それ以外の分野に関しては少ないという印象を受ける。なので、他分野のところは重点実組項目を置いて、結果がBやCであっても取り組んでいることが大事だと思うので、そのような方向も検討して頂けたらと思う。

(事務局)

委員からご指摘頂いたように、全体的に高齢者の実組が多いと感じている。その中で障害者や子どもに関する実組については実際に通常の実組としては行っているが重点実組項目に選定しているところはあまりない。次期計画については、ご指摘頂いた点を踏まえて、協議していければと思う。

(委員長)

新しい委員の方もいるので、分かり難い部分もあるかと思うが地域福祉計画が第1期、第2期、第3期と流れてきて、色々反省を踏まえながら、第3期では主な担い手を地区部会と決めた。その中で出来るだけ活動があまり活発ではない地区部会についても取り組んでもらおうということで、各地区部会で少なくとも一つ以上は重点実組項目を決めて取り組んでもらおうという流れがあり、重点実組項目を決めた。

重点実組項目は地区部会において、少ないところは1つというところもあって、多いところは11項目出している部会もある。今、計画の2年が終わり、今年が3年目の最終年ということで次期計画の第4期の時には、初めにそういう意見をどんどん出し

て頂ければと思う。

(委員)

取組別達成状況とあるが、中央区には16地区部会あると思うが、この達成状況の中に16地区部会の活動全てが含まれているのか。

(事務局)

基本的には全て反映させて頂いている。

(2) 第4期中央区地域福祉計画の素案について

(事務局)

資料2-1について説明。

(事務局)

補足資料、資料2-2、資料2-3について説明。

(委員)

資料2-3、6ページの「交流の場と仲間づくり」の中の具体的な取組で地区部会が「シニアリーダー体操」に取り組むとあるが、介護予防体操は地区部会以外のところが主体となって活動している地区部会もあると思うが、我々のところは地区部会が中心にやっている。「シニアリーダー体操」は介護予防体操とは違うのか。

(事務局)

地区部会で介護予防のシニアリーダーの研修を受けて、体操を少しずつ広めていくことになるので、地区部会ではいきいきサロン等の場を活用していくという意味合いで表記させて頂いた。

(委員)

研修を受けるのは地区部会の人間なのか。地区部会の中に入れていくのか。

(事務局)

地区部会の中に入れていくというのは、今の段階ではまだ明確にはお伝え出来ないで出来る範囲ということで表記させて頂いている。ただ地区部会ということで限定してしまっているので、現状に合わせ、各団体が取り組んでいるということで修正させて頂ければと思う。

(委員)

私は途中から委員になっているが、これらの取組がどういう仕組みでこういう成果が出ているのかという具体的にやっている例を教えてください。また、私は民生委員会、社会福祉協議会、町内会、敬老会とか色々なところに顔を出しているが、そのようなところでこのようなテーマを持った取組をしているところはないと思う。どこまでの取組を他の地区部会でやっているのか、たまたま自分のところがそういったところに無関心なだけなのか。ただ実態はどうなのか、ということで私自身は安心・安全や町内がどうやったら楽しくなるのか、等の団体活動はやっているが全体的に見て、そういう活動が社会福祉協議会とか各学校地区でも行われていないのか、他のところはどのような形でやっているのか、そういうことも含め、取組の具体的な進め方を教えてください。

(事務局)

全体的なところを申し上げると基本目標として「みんなでつくろう、支え合い安心して暮らせる中央区」と大きな理念があり、それを達成すべく7つの基本方針として

設定している。また感想的になってしまうが、見守り活動の一部を取り上げると中央区に関しては16の地区部会があるが地区部会エリアにある自治会で全体的に行っている地区部会数が9、一部の自治会で見守り活動を行っている地区部会数が4、13の地区部会が何らかの見守り活動を行っている状況である。それを自治会の割合から見ると157の自治会が行っており、全体が190であるので8割を超える自治会が取組をしてもらっている。同じように各区の割合を見てみると他の区はかなり低くなっており、花見川区、稲毛区、若葉区においては約10%、緑区は1%、美浜区においては46%になっている。あくまで活動の一部の例ではあるが、取組として各地区部会が努力し、活動を進めて頂いている。

ただ、国の方でも「一億総活躍プラン」ということで昨年8月に閣議決定し、「わが国丸ごと」ということで色々な政策を打ち出してきている。表現の仕方については適切ではないかもしれないが、各地区部会で今行っていることを法的に追従してきているような状況である。各区についても確かにこの内容を各地区部会にやって頂く形を取ってきたが今後は行政と社会福祉協議会が連携をとり、充実を図って頂ければと思う。

(委員長)

委員の今の質問の趣旨は、各地区部会で本当にこんな多くの活動をやっているのか疑問を強く持たれ、それで具体的にやっていることを示してくれれば、本当にやっていると分かるのだがと言う質問内容だったと思うが、そのあたりについてはどうか。

(委員)

これはどういうことかと言うと、例えば町内会連合会で行政が出向いて町内会長や老人会の会長にこのような話をしてくれると色々な活動がしやすくなると思うし、今はそのような話がそこまで出来ていないと感じる。

(事務局)

各地区部会で聞き取りを行う際に、我々の方で補助金を出している関係でいきいきサロンや子育てサロン、散歩クラブについては実際に資料にある通り、活動してもらっている。それで話の中で課題にも出てきたように各地区部会で連携を強化するという課題があったが社会福祉協議会の方から各自治会や敬老会に一つ一つ説明に行っていないので連携についてはこれから課題として努力していかないといけないと思っている。

(委員長)

資料2-1の第3期計画の取組状況についてはうまくまとめられており、又主な取り組み状況を各地区部会から出してもらっているのも、出来ればこの中から見本となるようなものを、各グループごとにでも、具体的に記載・説明してもらえると、第3期計画の残りのあと1年やる中でもプラスになるように思う。

(事務局)

次回はもう少し内容が分かりやすいように記載させて頂ければと思う。

(委員長)

更に来年からの第4期計画においても、この時点で、具体的にこうやって進めてゆくといい見本の一つを示してもらえると、来年各地区部会でも真似ができるように思う。

(事務局)

来年は取組状況と1例を入れるようにしたいと思う。

(委員長)

次期計画の素案については、非常に内容が多く、今話を聞いてすぐ理解するのは難しいように思う、第3期計画の中での問題点と課題については、本日配布された補足資料で、2年目終了段階でまとめたものとして、4つの課題が挙がっていると思う。これは皆さんの共通認識ということでよいか。また今説明があった4期計画の素案については、字句の修正を含めて少し検討が必要だと思う。事務局とはまだ相談していないが、こういった内容を検討する小委員会を作ったらよいと思うが皆さんはどう思うか。具体的には今日配布された2年目の進捗状況の課題を4期計画にどのように入れていくかとの話と、ここに書いてある課題の対応はこれでよいのかといった点等について、今日示された4期計画の素案の中にどう取り入れていくか、もう少し細かく見るメンバーを決めて検討したらどうかということだが、どう思うか。

(委員)

私もそのように感じた。内容について、もうちょっと細かく把握して意見を出したいと思うが、このように全体の課題を出されてしまうと全部聞いているとどこから意見を言ったら良いかなと分からないところがある。特に福祉力と人材育成のところはどの部分にも関連しているので大事だなと思い、その中で細かく福祉教育と分けて考えたときにどこで意見を言ったら良いのかと思ったので小委員会を作って、検討した方が良いものが出来るのではないかな。

(委員)

最初、委員が言われたように前の計画の時も地区部会が選定したものをやってここまで進んだが、選定した項目もそれぞれ違うし、全てのところでどこまで底上げが出来ているのか、進んでいるところはすごく進んでいるかもしれないが、次にまた重点取組項目をそれぞれ設定するとあるので、そうすると出来るところは出来るかもしれないが、また16地区部会それぞれがどれくらい出来たのか分からない状態になってしまうのではないかな。

(委員長)

今後の進め方の中で重点課題を取り上げて、各地区部会の中で選ぶという方式も改めた方がよいということか。

(委員)

何とか同じレベルに上げられるような選定の仕方を誰かからアドバイスを頂くとか、さっき言われたようにうちの地区では何やっているか分からないと言われないうにしないといけない。どんどん進めていけるところは良いが、そうじゃないところをどうにかしていかないと。中央区全体として進めていきたい計画なので。

(委員長)

4期計画の中にそういう考え方も少し入れたらどうかということによろしいか。

(委員)

是非そうしてもらいたい。

(委員長)

先程、私が提案した小委員会のメンバーに何人かいたら。今の土屋委員の提案を含めて、3期の計画で上がっている課題についてもどうやって解決するのかということと

4期計画の中の大体出ている事について、もう少し詰めることをやって頂けそうな小委員会を作って検討したらと思うがそれでよろしいか。

選出の結果、小委員会のメンバーは以下のとおり。

委員長

副委員長

他 委員 4名

(3) 区支え合いの推進計画実施状況調査について

(事務局)

資料3-1、資料3-2について説明。

(委員長)

資料3-2について、自分のところになってしまうが、実際蘇我地区部会と一緒にやっているの、そこも入れて頂きたい。

その他

(事務局)

次回の推進協の開催日程について調整して頂きたい。

(委員長)

平成29年第2回推進協議会は9月22日(金)の午前からとする。

以上